

工事写真報告書

工事番号 平成 26 年度

工事名 M 様邸

工事箇所 屋根・外壁・その他塗装工事一式

工事住所 みやこ郡 苅田町 大字新津

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



屋根 洋風コンクリート瓦

洋風コンクリート瓦はセメント：骨材＝1：3（通常のセメント瓦はセメント：骨材＝1：2）で作られており、その上にカラースラリー層とアクリルクリヤーでできております。

塗装の際、劣化による脆弱なスラリー層と巣穴が深いなどがあります。



屋根 洋風コンクリート瓦

塗装をおこなう場合、脆弱なスラリー層の上に塗装をおこなうと剥離の原因、また巣穴が深く、塗膜の遮断力が不足し水分等が浸透してしまうので、洋風コンクリート瓦は高圧洗浄二回おこない密着の悪いスラリー層を除去し、専用下塗りを二回と上塗り二回の四回塗りが必要です。



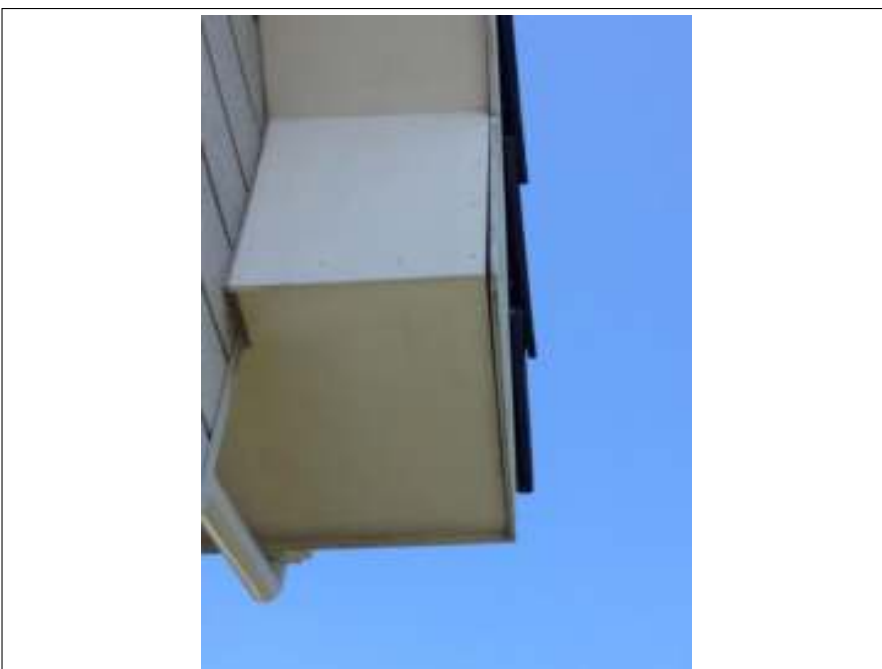
屋根 洋風コンクリート瓦

年数が経過すると屋根材が割れており、塗装する前にクラックをパテやシーリング等で補修をおこなうのですが、予備瓦がありますので割れている瓦は差し替えて塗装をおこないます。



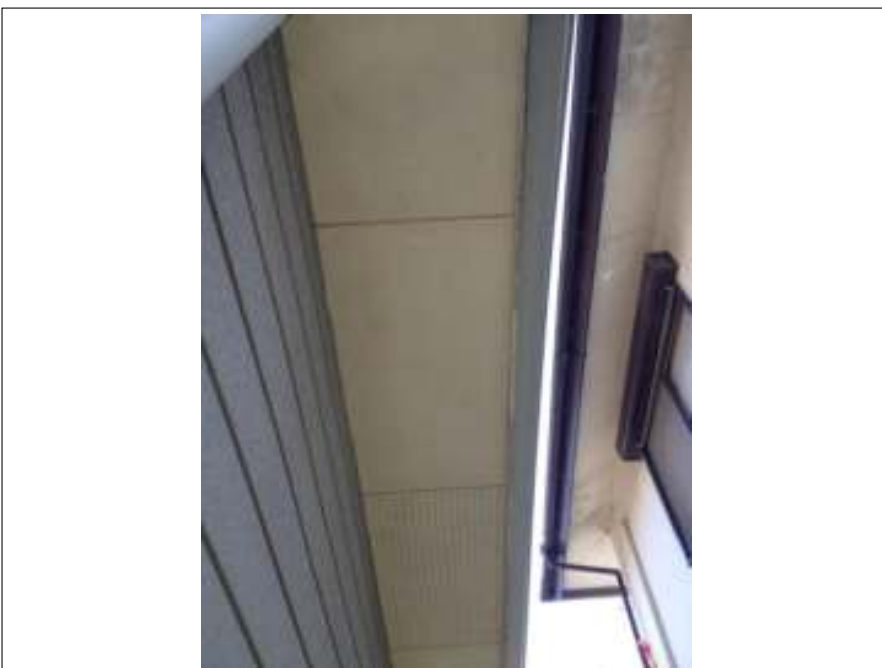
破風板・鼻かくし

旧塗膜剥離や経年劣化しています。
ケレン作業や下地処理をおこない、
下塗り・上塗りの塗装をしていきま
す。



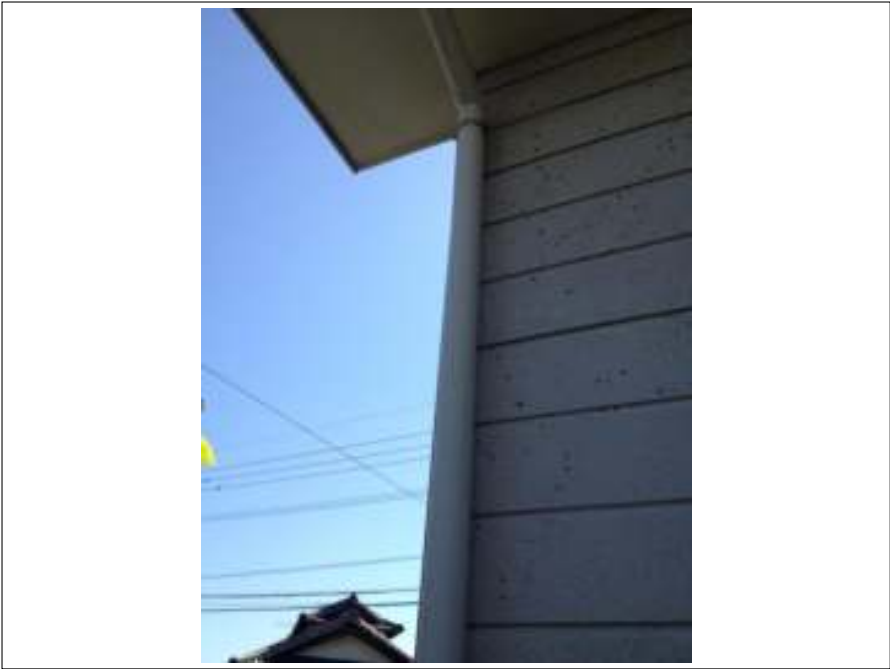
破風板

数ヶ所浮いているところがありま
す。
この部分はビスで打てる部分はビス
打ちをおこない、塗装をしていきま
す。



軒天

経年劣化しております。
この部分は通気性の良い軒天専用の
塗装をしていきます。



樋

こちらは塩ビ素材になります。
劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



ダクトカバー

同上



シャッター部

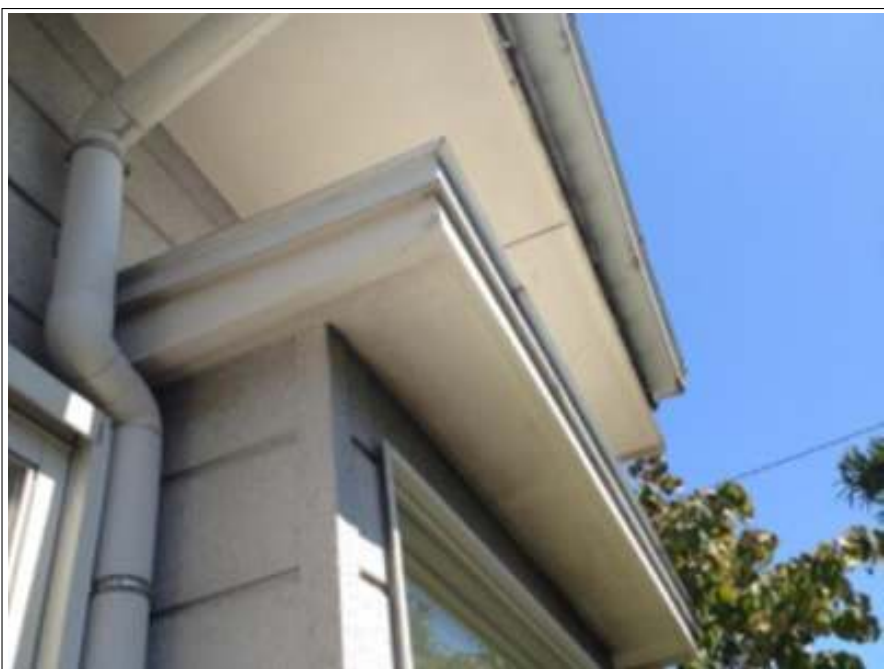
この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



シャッター部

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



小庇

同上



換気フード

同上



土台水切り

同上



外壁シーリング劣化部

劣化している部分があります。
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し躯体・ボードの痛み
や建物の寿命につながりますので、
シーリング等で補修ををおこない塗
装をしていきます。



外壁シーリング劣化部

シーリングの劣化が激しい部分は打ち替え補修をおこない、塗装をしていきます。



外壁シーリング劣化部

同上



外壁シーリング劣化部

同上



外壁シーリング劣化部

同上



外壁シーリング劣化部

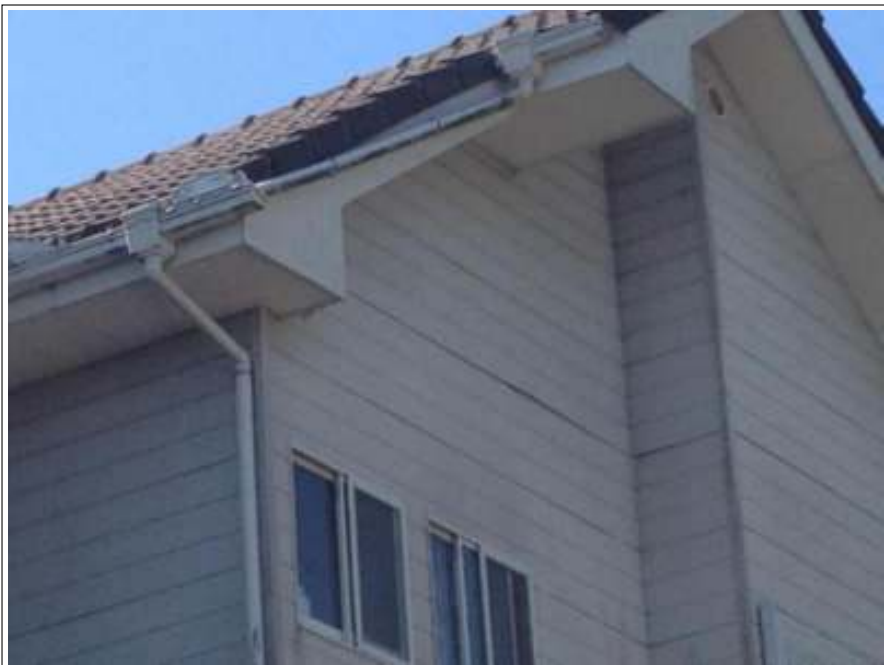
同上



外壁はがれ

外壁の塗膜表面が劣化しております。

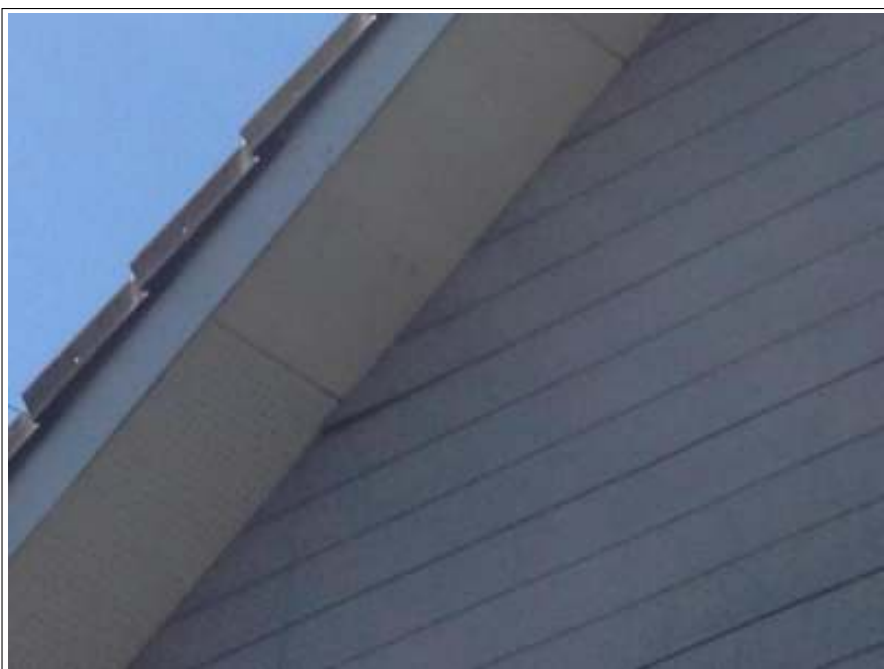
この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁反り

外壁材が湿気や雨水を含み乾きを繰り返して、だんだん反りが発生しています。

この隙間は一度開くと戻らないので、これ以上広がらないように早めの塗装が必要です。



外壁反り

同上



外壁反り

同上



外壁反り

同上



外壁反り

同上



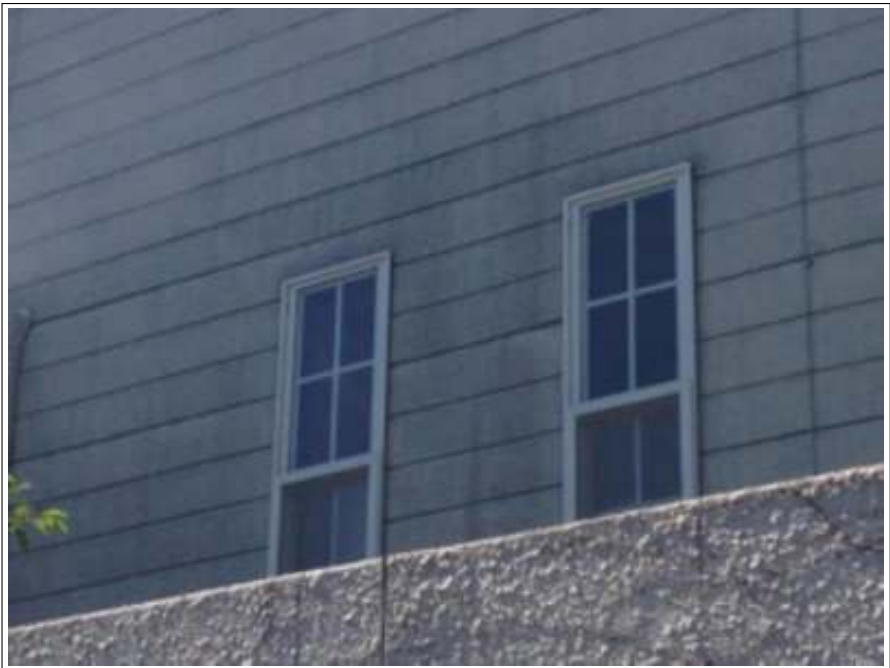
外壁反り

同上



外壁反り

同上



外壁カビ発生部

カビの発生が見られます。

カビの上にくら良い塗装をして
も、カビの根が残っている以上塗膜
を突き破って表面化してきますの
で、カビの根を抑える必要がありま
す。



外壁カビ発生部

対処方法

いくら高圧洗浄をかけても、カビの
根が残ってしまいますので、カビの
根を殺す防カビ下塗りをおこない、
下塗り・上塗り二回の三層四工程を
おこないます。



外壁カビ発生部

同上



外壁カビ発生部

同上



外壁カビ発生部

同上



外壁カビ発生部

同上

Horizontal lines for additional notes or comments.



外壁カビ発生部

同上

Horizontal lines for additional notes or comments.

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

Horizontal lines for additional information or notes.

